■津山小の校旗。校章は北上 川、柳の葉、津山の山々をモチーフに、「小」の字はイヌワ シをイメージしてデザイン された 型開校式で児童代表 の言葉を述べた佐藤さん ■ 校歌は柳津小を卒業した林 宏治さんと横山小を卒業し た須藤雅さんが作詞作曲。穏 やかな心を持ち、笑顔で元気 に育っていってほしいとい う願いが込められている**4** 参加者全員で校歌を合唱し、 新たな歴史の幕が上がった

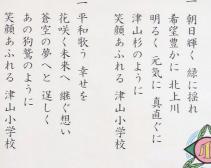
り組んでいます。

校生活を送ることができるように取 面にも寄り添いながら、魅力ある学 前に学校間の交流事業を実施。精神

ます。その不安を和らげるため、統合り、児童たちは不安や戸惑いを感じ







学習意欲や競争心が芽生えにくくな

まな意見に触れる機会が少なくなり、 友達が少ないことなどにより、さまざ



の規模を確保することが必要です。 れてしまうため、統合により一定程度 興味や関心に応える選択肢が制限さ は、部活動の種類が少なくなり、生徒の ることが懸念されます。また、中学校で

スク 置。委員会では、校舎の老朽化や通学育委員会が参加する準備委員会を設育委員会が参加する準備委員会を設以来、津山地域の保護者、住民、市教 めてきました。 開校に向けて検討を重ね、準備を進 ながら、地域と行政が一体となってで対応するなど、関係者の声を聞き た。市教育委員会では、校舎の改修や 環境などについて要望があがり 市立小中学校等再編構想を策定して また、統合による環境の 市教育委員会は、19年3月に登米 ルバスのルー トを増やすこと 変化によ まし

ところです



教育委員会教育部 学校再編推進室 津藤 順 室長

みを進めていきます 者と共に、これからも再編の 人たち、教育現場に携わる関係 の充実を目指し、保護者、地域の 子どもたちのために教育環境 市教育委員会では、未来を担

地域と共に歩みを進める教育環境の充実目指し

所はありますが、人間関係の固定化やながりが深まりやすいことなどの長行き届きやすいことや他学年とのつ小規模校には、児童一人一人に目が

津山

小学校

校歌

進めています。 学校を1 的な考え方として、学校再編を を2学級以上とすることを基本 ラス替えができるように各学年 条件などを考慮して各町域に小 本市は、通学距離や時間、立地 校配置することと、

どもたちの教育環境を改善する 後も単学級ではあります 式学級規模となっており、 ことができたと思います。 しく、横山小学校は以前から複 津山地域は児童数の減少が著 統合

に向けた話し合いを進めている米山、南方地域でも小学校再編 まったばかりです。現在、東和、 本市の学校再編は、まだ始

境の充 校が開校 最高のでは、地 旗が手渡され、鹿野校長と児童代表長から小野寺文晃教育長に新たな校長から小野寺文晃教育長に新たな校長がら小野寺文鬼教育長に新たな校童、教員、保護者、地域住民など関係 継いできた地域の文化を大切にしな述べた佐藤雅道さんは「両校が受けいく」とあいさつ。児童代表の言葉を 津山小学校(鹿野征美校長、児童90の歴史に幕が下り、4月から新たに 新たに津山小学校が誕生149年の歴史に幕 せました。 学校にしたい」と、期待に胸を膨らま がら、全校のみんなが仲良くできる とし、地域と共に教育活動を進めて 児童を育成していくことを教育目標 ら学び、心豊かでたくましく生きる の佐藤凜矩さんに授与されました。 人)が開校しました。 たちの成長を見守り続けてきた両校 創立以来、149年にわたり子ども 開校式で鹿野校長は「ふるさとか が閉校。1873年(明治6年) 本年3月に柳津小学校と横山 4月7日には開校式が開かれ、児

求められる学校再編加速する少子化

ど減少することが予測されています。 28年には、現在よりさらに650人ほ 数は3324人で合併した2005年 時点から1517人減少。5年後の 5月1日現在の本市の小学校児童

津山小6年 奥田 梨智さん

最初は統合することに 不安もありましたが、み んな明るい性格で、すぐ に打ち解けられそうなの で安心しました。新しい 友達との学校生活やいろ いろな行事がすごく楽し みです。

Interview 津山小PTA会長

菅原 和彦さん

時代の流れとともに子 どもが減少しているた め、統合は仕方のないこ とだと思います。スポー ツ少年団や地域事業など も、津山が一つとなって 団結して活動していって ほしいです。



0)